Tokyo Metropolitan Kokubunji High School
BUNJI-SSH NEWS
ぶんじのセンセイ版 BS
SSH Super Science High school
No.14
2026/9/24 発行
SS 探究部

木もれ陽祭お疲れさまでした！四祭を１週間で行うこの行事には，各教科の学びにつながる“種”がたくさんあります。ということで，今回は**「木もれ陽祭を，教科の眼でほどいてみる」**というテーマを扱ってみようと思います。ただし，「木もれ陽祭を題材に，新しい授業をつくりましょう」という話ではありません。身近な出来事を一度教科の眼で抽象化し，そこからいつもの単元や学習内容とのつながりを見つけてみる。今回はそんな見方を試してみます。

木もれ陽祭の場面		教科の眼で見ると… No.５の学びのレンズ:No.３の学びのアクション	つながりそうな学習内容例
合唱	**合唱祭で複数の声が一つの響きになる**	音はどのように重なり，響き方が変わる？ 構造/変化:試して確かめる・関係を整理する	**物理基礎**：波，音 **音楽Ⅰ**：歌唱，音楽の構造，音色・リズム・旋律・テクスチュア等と曲想との関わり
	合唱曲の歌詞を読み込む	同じ言葉でも，誰の立場から読むかで意味は変わる？ 視点・立場:見方を変える・問い直す	**言語文化/文学国語**：作品の内容や表現の解釈 **音楽Ⅰ**：歌詞と音楽との関わり，歌唱表現 **英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ/論理・表現**：言語や文化への理解
縁日	**文化祭の係や当番を割り振る**	限られた条件の中で，どう公平に割り当てる？ 最適化:比べて考える・選んで使う	**数学Ａ**：場合の数と確率（順列・組合せ） **公共**：公共的な空間における基本的原理（公正）
	文化祭で来場者が校内を移動する	人の流れは，どこで滞り，なぜ変化する？ 因果/システム:集めて整理する・図や表で示す	**地理総合**:生活圏の調査と地域の展望・地理情報の活用 **情報Ⅰ**：情報通信ネットワークとデータの活用
	模擬店の商品数や材料を決める	どれだけ用意すれば，余りや不足を減らせる？ モデル化/最適化:使って解く・試して確かめる	**数学Ⅰ**：データの分析 **家庭基礎**：食生活，消費生活・環境
	クラス企画について意見が分かれる	異なる立場を踏まえ，どう意思決定する？ 視点・立場:理由を書く・比較して選ぶ	**公共**:公共的な空間における基本的原理，合意形成や社会参画 **現代の国語**：話合い・論拠に基づく表現
	来場者アンケートを実施する	「楽しかった」をどう確かめる？ 証拠:集めて整理する・妥当性を確かめる	**数学Ⅰ**：データの分析 **情報Ⅰ**：情報通信ネットワークとデータの活用 **現代の国語**：情報の妥当性・表現
	ﾎﾟｽﾀｰやﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを制作する	何を，どの順番・形で示すと伝わる？ 構造/視点・立場:まとめる・図や表で示す・書いて伝える	**現代の国語**:目的や場に応じた情報の収集・整理・表現 **美術Ⅰ**：デザイン，伝達のための表現 **情報Ⅰ**：コミュニケーションと情報デザイン
幕間	**体育祭で競技種目やルールを決める**	「公平な競技」とは何をそろえること？ 構造/最適化:条件を比較する・妥当性を確かめる	**体育**：スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 **公共**：公正，合意形成
	体育祭の記録を比較する	記録の差は何によって生じる？ 因果/証拠:集めて整理する・根拠を示す	**体育**:運動やスポーツの技能と体力，効果的な学習の仕方 **生物基礎**：ヒトの体の調節 **数学Ⅰ**：データの分析
	熱中症対策や休憩時間を考える	安全を保ちながら活動するには，何を根拠に判断する？ 因果/証拠:集めて整理する・妥当性を確かめる	**保健**：健康の保持増進，健康を支える環境づくり **生物基礎**：体内環境の維持・体の調節 **化学基礎**：物質量・水溶液等
	天候によってプログラムを変更する	条件が変わったとき，全体をどう組み替える？ システム/最適化:関係を整理する・提案する	**保健**：健康・安全 **情報Ⅰ**：データの活用・情報の信頼性 **公共**：合意形成・意思決定

木もれ陽祭の場面		教科の眼で見ると… No.５の学びのレンズ:No.３の学びのアクション	つながりそうな学習内容例
体育祭	**大量のごみが出る**	行事の楽しさと環境負荷をどう両立する？ 持続可能性/システム:影響を考える・提案する	**家庭基礎**:消費生活・環境，持続可能なライフスタイル **化学基礎**：物質と化学結合・物質の利用 **地理総合**：地球的課題と国際協力
	装飾や衣装を制作する	材料や形を変えると，機能や印象はどう変わる？ 変化/最適化:試して確かめる・新しい見方を出す	**美術Ⅰ**：デザイン，目的や機能を考えた表現 **家庭基礎**：衣生活と健康，被服材料・衣服の計画
	木もれ陽祭そのものを振り返る	なぜこの行事は本校で続いてきたのだろう？ 変化/持続可能性:経験と結び付ける・問い直す	**歴史総合**：歴史の扉，歴史的な見方・考え方 **現代の国語**：情報の整理・記録・表現 **公共**：社会に参画する自立した主体

「教科の眼」で見る，とは？

同じ出来事でも，教科によって着目するところは異なります。

「どう公平にするか」「なぜそう聞えるのか」「どうすれば伝わるのか」「どうすれば納得して決められるのか」

こうした問いに置き換えることで，日常の出来事の中に，教科で扱う概念や考え方との接点が見えてきます。

大切なのは，行事を無理に教材化することではありません。目の前の出来事を教科の眼で捉え直し，すでにある学習内容とのつながりを見つけること。そこから，普段の授業にも新しい文脈が生まれるかもしれません。

では，「文理融合」とは？

文理融合というと，「文系教科と理系教科が一緒に授業をすること」を思い浮かべるかもしれません。しかし，その形だけが文理融合ではありません。一つの事象を，異なる知識・方法・価値観から捉え，それらをつないで考えること。木もれ陽祭を複数の教科の眼から眺めてみることも，その入口の一つです。

ちょっとだけ研修

「木もれ陽祭」とこれを読んでいただいている先生の教科の授業とを結びつけるならば，どういったことが考えられますか？上の表と同じように考えてみてください。

木もれ陽祭の場面	教科の眼で見ると…	つながりそうな学習内容例

木もれ陽祭には，生徒が日々の授業とは少し違う形で，考え，判断し，表現し，他者と関わる場面がたくさんあります。

「この行事，自分の教科ならどう見るだろう？」

そんな小さな連想から，教科と教科，授業と学校生活のつながりを見つけてみませんか？